

- ◎通貨の単位は「1時間1点=1食分」とする。1食分は1日の食費の $\frac{1}{3}$ 又はその国の一般的な食物の価格とする（日本はカレーライス、米国はハンバーガーとソフトドリンク）
- ◎愛の通貨は平等で格差が少ない。1時間の長さは世界共通で、人間の寿命は国々によって違うが、その格差は約2倍前後であり、富の格差よりはるかに少ない。
- ◎時は金なりを、時は命なりと考え、自分の一生を時間に置き換えると人生80年時代は約70万時間となる。その約 $\frac{1}{3}$ を睡眠・休息の時間とし、残りの時間をどのように使うかという事で、生活設計とライフスタイルを考えることができ連帯感を育てる事が出来る。
- ◎“愛の通貨”は自分の生命を基にして自由に自主的に使えるから、インフレやデフレや円高、円安、株価の高低等の人為的な操作に左右されることがない。
- ◎“愛の通貨”はファミリーリスク・マネジメントに最も安価で最も有効的な方法で、出産や老いによる介護時間はある程度予測出来、予め“時間貯蓄”をする事が出来る。
- ◎3時間働けば食べていけるという事を原則とし、1日の給料を8点、週給なら60点、月給なら250点、年俸なら3000点を最低賃金とし世界的な基準を作る。自分は最低賃金の何人分を得ているかという事を割り出し、協力し助け合う事が容易に出来る。
- ◎毎年飢えている人の数を調べ、これを世界の富豪から順次応分に助ける事によって、国の枠を越えて人道的な問題を解決することが可能になる。
- ◎地震、台風、水害などに対しては、上記の事をふまえた上で、有志のボランティアを登録しておくことにより、即刻対応することが出来る。家庭のリスクから、地球規模の災害まで、世界的に活用出来る時間単位の“愛の通貨”を23年の実績を基に提案する。